

新型アウトランダーPHEVが発売されました

新型アウトランダーPHEVはフロントデザインを一新したほか、パワートレイン、ボディ、シャーシなどを大幅改良することで、静粛性、加速性、操縦安定性、乗り心地、燃費などの向上を図りました。主な改良点として

- (1) エクステリアデザイン、一新したフロントフェイス「ダイナミックシールド」、LEDヘッドライト、LEDリヤコンビランプ、スキッドプレート形状を採用することによりSUVらしい力強さと安定感を表現、新デザイン18インチアルミホイール(2トーン切削光輝タイプ)を採用
- (2) インテリアデザイン、シートの表皮、デザインや素材を変更、工芸品のような端正な美しさを追求した大型センターコンソール、加飾や光輝アクセントを施したインパネ&ドアトリムオーナメントパネル
- (3) 操縦安定性と乗り心地の向上
ボディ剛性を向上、サスペンション取付部の剛性を向上させることで、操舵感と操舵に対する応答性と正確性を向上、リヤショックアブソーバーシリンダー大径化で走行安定性と乗り心地の両立など走りの質感を向上
- (4) 静粛性のさらなる向上
吸音材や遮音材、制振材やダイナミックダンパーの追加など30点以上の改良、ドアシールの構造を改良することでドアのしまり音を改良。質感、安心感の向上
- (5) 環境性能の改善
プラグインハイブリッドEV制御の最適化や、エンジンのフリクション低減により、ハイブリッド燃料消費率(JC08モード)を1.6km/L向上させ20.2km/Lとしたほかモーター効率向上により充電電力使用時走行距離(JC08モード)を0.6km向上させ60.8kmを実現しました。
- (6) その他の改良点
プラグインハイブリッド制御やモーター制御を見直し、市街地における発進時や走行時の加速性能やレスポンスを高めました。



PHEVオーナー様より寄稿いただきました ⑨

今回は米沢店のお客様、高橋裕美様がお話下さったことをセールスマンがまとめました。置賜のPHEVオーナー様初のご紹介になります。高橋様、PHEVを強くおすすめいただいた旦那様ありがとうございます。

私自身、本当はパジェロが欲しかったのですが、主人から「これからは電気で走る車の時代だ」と強くすすめられ、4WDだし、冬安心できるという事で購入に至りました。



今年の3月15日に納車され、まだ3ヶ月弱で約4,400kmですが、日光と青森市へ旅行に行ってきました。日光の方は、日光東照宮に行き、華厳の滝を見て自宅に帰ってきましたが、ガソリン満タンから20ℓ消費で済み、燃費の良さにかかなり驚かされました。

青森市の方も秋田経由で行きましたが、30ℓ消費で済んでしまいました。(その間急速充電1回のみです)

ほとんど主人の運転でしたが、下り坂で上手く回生ブレーキで充電した事が一番の要因かなと思います。

日常でも満充電で表示が55kmで、通勤はほぼ電気で走行するのでガソリンがほとんど減りませんし、エンジン音がしないので後続の車のエンジン音が聞こえるほど静かな車内がとても満足しております。



写真は高橋様の旅の思い出です

乗っていて気に入った所はフロントデザインがシンプルな点と他メーカーのようにスイッチを押せばその車の性能を発揮できるのではなく、航続距離をどうしたら伸ばせるかや、バッテリーにどれだけ多くの電気をためていけるかなど、自分の運転しだいでPHEVの性能を生かせる所が気に入りました。私のように青のミニカ世代のおばさんでもこのように色々ためて楽しんで乗っております。

まだ冬に車を乗っていませんが、どのくらいPHEVの4WDの性能を味わえるか冬になるのが楽しみでなりません。

高速道路の急速充電器

NEXCO東日本では2015年夏、東北道の安達太良、国見、菅生の各SA・PA上下線、山形道の山形蔵王PA上下線で急速充電サービスを開始する予定です。

写真左は菅生PA上り線、充電器設置工事の様相です。作業員の話によりますと運用開始は、7月24日からだそうです。

写真右は山形蔵王PA下り線、基礎工事中でした。

充電器はNEXCOのホームページによると

- (1) ご利用時間：24時間 ※年中無休
- (2) ご利用方法：三菱充電カードで充電できます。

